

短歌のつくり方(初等部の子ども達と保護者の皆さんへ) ① ニュージャーシー補習授業校(十二月一日)

短歌を、つくりませんか。我が国では、日本人は、奈良時代(千二百年前)から今にいたるまで、短歌をつくらせてきました。悲しいとき、嬉しいとき、親しい人が亡くなったとき、家族のことが思い出されるとき、ひとりぼっちのとき、お酒を飲んだとき、そして人を好きになったとき・・・日本人は短歌をつくって慰め励まし元気を出して暮らしてきました。今では、短歌は、俳句とともに多くの人々に愛されてつくられています。その結果、我が国は、世界でもまれな「詩人の国」だとも言われています。

さあ、皆さん、短い詩—短歌をつくってみましょう。(五・七・五・七・七)の三十一文字です。

短歌をつくる時に、学ばべき実践があります。T.O.S.S春日井(愛知県)の竹田博之先生の実践です。

竹田先生は「俳句ができれば短歌もできる。」「二つの俳句を合わせると短歌になる。」と言われます。

①まず、俳句をつくります。(一句に季語—季節を表すことば—は一つだけ)

例えば、「冬休み」「お年玉」などを入れて、「冬」の俳句をたくさんつくります。

1. 冬休み かねの合図で 年をこす
2. 冬休み ゲームをやって 年をこす

②二つの俳句を、合わせます。できあがりです。(1+2)



冬休み かねの合図で 年をこす ゲームをやって 新年だ

③俳句は思いついたことばを並べてつくりやすいけれど、短歌はしっかりと言葉を選ぶ必要があります。困っている子は、ちょうど合うような五文字・七文字が頭に浮かばないことが原因です。

その場合は、**文字数に合うような言葉を例示したり、言葉の組み合わせを提示して、**

最後は、自分で考えさせます。一度できると、子どもは自信を持ちます。これが大切なことです。

④何を題材としてつくるか?・・・これがとても大切です。値打ちのある内容です。

- ・アメリカの気候。風物。名物。(日本と比べて)
- ・アメリカの食べ物。(バーベキューなど日本と比べて)
- ・アメリカの遊びや文化、行事、スポーツ。
- ・アメリカのスポーツ観戦。(イチローなど)
- ・勉強や宿題、学校生活。学校の友だち。そして初恋も。
- ・帰国(一時帰国も)。

【世界の子ども達の作品から学びましょう。(初等部) 文芸作品コンクール入賞作から】

- わたしにも ホワイトボードに かかせてね かなもかんじも じょうずにかくから(オークランド補習校一年 松岡 伶奈)
- ぼんおどり わたあめラムネ たべたいな いつてみたいな にっぽんのなつ (ワシントン補習校 一年 中山 雄貴)
- しんぶんで かぶとをおった 子どもの日 サムにかぶせて さむらいごっ (ワシントン補習校 二年 木村 謙)
- おにごっこ(ご)までおいで」と アンがよぶ おにのわたしが つかまえていく (ウェールズ補習校 三年 竹内 満衣子)
- ふでをもち 生という字を 書いてみた 黒いぼくじゅう 日本のおい (ウェールズ補習校 三年 大澤 優也)
- 木のしたでバス待つアンのスカートが風にふかれて水玉おどる (ワシントン補習校 四年 岸本 倫)
- ドラキユラのマントゆらめく夜(いく)かぼちやのランタンおまもりにして (ニューヨーク補習校 五年 渋谷 はるな)
- 片想いなのかもしれない今はまだ二人でいるよりみんなでいたい (ニュージーランド在住 六年 マセソン若南)